

謝明諺 tenor sax  
石川広行 trumpet  
西嶋徹 contrabass

助団法人  
國家文化藝術基金會  
National Culture and Arts Foundation  
NCAF

2024 11月15日 (金)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 石川広行

1984年3月17日北海道室蘭市生まれ。高校時代にジャズと出会う。高校卒業後に札幌での演奏活動を行った後、洗足学園音楽大学に入学。在学中にはパークリー音楽院にも留学した。洗足学園音楽大学を卒業後、都内各所で活動中。これまで原朋直氏、佛坂咲千生氏、タイガー大越氏、Hal Crook氏に師事する。これまでの主な参加バンドやプロジェクトは、象眠舎、Millennium Parade、大橋トリオ & The Pretaporters、Blacksheep、Fluid Space、Octagon、宮木謙介 Big Band、佐藤恭子リトルオーケストラ、狭間美帆 NEO-SYMPHONIC JAZZ、三木俊雄フロントページオーケストラ、廣瀬真理子と Purple Haze 等。

## 謝明諺 / Minyen Hsieh

<https://linktr.ee/minyehhsieh>  
謝明諺、通称 (terry) は、1981年台北生まれ。19歳で自身のバンドを作りプロとしての活動を始めました。小さい時から音楽が大好きだった謝さんは、高校生の時からサックスを始め、すぐにジャズに恋をしてしまったそうです。謝さんにとってジャズとは、自由を表現する完璧な方法であり、自分自身にリアルであるためのものと言えるのだそうです。謝明諺は、台湾の色々なジャズのライブハウスなどで活動後、ベルギーにあるブリュッセル王立音楽院で修士号をとります。そして、2012年に台中で行われたサックスのコンクールで優勝したことをきっかけに、台湾のジャズシーンの重要な人物へとなってゆきます。台湾の音楽賞での受賞は数多くあり、台湾をベースに活動している日本人のバンド 東京中央線とコラボレーションしたアルバム「Lines&Stains」では、GMA 金曲賞で2019年のベスト インストルメンタルアルバム賞を受賞。エレクトリック エクスペリメンタルグループである非/密閉空間では、2020年のGMA 金曲獎のベスト インストルメンタルアルバム プロデューサー賞を受賞しています。

代表的な作品に、『Firry Path』(2014年)、『上善若水 As Good As Water』(2018年)、『爵士詩靈魂夜 A Soulful Night of Jazz Poetry』(2022年)。最新作は2023年七月リリース、スガダイローと一緒に作った待望のコラボレーション・アルバム『Our Waning Love』!

## 西嶋徹

1973年東京生まれ。5才よりヴァイオリン、高校よりエレキベースを始め、大学卒業後にコントラバスを始める。ジャズやアルゼンチンタンゴを軸に幅広い分野で活動。現在、Cuatrocientos、三枝伸太郎 Orquesta de la Esperanza、鬼怒無月 Quinteto、吉田篤貴 EMOSTrings、などのグループに参加。これまでに、葉加瀬太郎、綾戸智恵、小野リサ、小松亮太、Jazztronik、Pablo Ziegler 等多くのアーティストのコンサートやレコーディングに参加。2014年にピアニスト林正樹との2枚目となるDUOアルバム「El retratador」をリリース。2018年、ソロアルバム「Phenomenology」をリリース。2021年、ギター藤本一馬、ピアノ栗林すみれ、ドラム福盛進也とのグループ Remboatoにてアルバム「星を漕ぐもの」リリース。2024年、自己のリーダープロジェクトとして蒼波花音 (sax)、遠藤ふみ (pf)、と共にアルバム「幽けき刻」をリリース。